

開講年次・時期	1年通年	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA110	科目名	芸術(華道)	担当者名	江口真理
授業の概要	日本の伝統的な文化の一つである「華道」(小原流)を学ぶことにより、芸術の一端に触れ、日常生活における心のゆとりの大切さや環境に配慮する心を育むことをねらいとする。前期は4月から学生祭終了まで、後期は9月から学生祭を含んで12月までの履修とする。市民文化祭への参加や小原流の「みんなの華展」など外部での活動も行う。				
科目の到達目標	華道初心者は華道の基礎を身につけ、毎回の授業を通して学生祭や生け花展などでの作品展示が行えるようになることが目標である。上級者はさらに上の技術を目指し、許状の取得をもって学習成果とする。				
DPの観点	②専門知識・技能 ⑥幅広い教養 ⑧社会性				
授業時間外学修(予習・復習)	いけばな(小原流)テキストの予習と復習をする。授業内容該当箇所の予習および復習を各15分程度行う。				
フィードバックの方法	提出された課題について、授業担当者より各学生にフィードバックを行う。				
単位認定の要件	毎回のお稽古に参加することに加え、学生祭や展示会での作品展示も単位認定条件に含まれる。また、お稽古のお花や水の準備・片付け当番を総合的に評価に加える。				
評価の方法・割合(%)	授業内提出物50% 授業内活動20% 授業外活動30%				
履修上の注意事項	演習の授業なので、毎回出席することが望ましい。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			入門編:かたちの基本:たてるかたち	②⑥	作品評価
2			入門編:かたちの基本:かたむけるかたち	②⑥	作品評価
3			かたちの展開:ひらくかたち(正面性)①	②⑥	作品評価
4			かたちの展開:ひらくかたち(正面性)②	②⑥	作品評価
5			かたちの展開:ひらくかたち(正面性)③	②⑥	作品評価
6			かたちの展開:ならぶかたち(正面性)①	②⑥	作品評価
7			かたちの展開:ならぶかたち(正面性)②	②⑥	作品評価
8			かたちの展開:ならぶかたち(正面性)③	②⑥	作品評価
9			かたちの展開:まわるかたち①	②⑥	作品評価
10			かたちの展開:まわるかたち②	②⑥	作品評価
11			かたちの展開:たてるかたち(瓶を含む)①	②⑥	作品評価
12			かたちの展開:たてるかたち(瓶を含む)②	②⑥	作品評価
13			かたちの展開:かたむけるかたち(瓶を含む)①	②⑥	作品評価
14			学生祭展示・体験コーナー指導①	②⑧	作品評価
15			学生祭展示・体験コーナー指導②	②⑧	作品評価
期末試験					

使用テキスト	『初等科教本 花意匠の基本』
参考文献 参考URL	『小原流いけばな教本』(盛花編・瓶花編・花意匠・かたちの展開花舞編)
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働性⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--